

女子戦評

大会名 第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会 青森県代表決定戦

日時 平成25年11月9日～10日

会場 青森市民体育館

女子決勝（11月10日）

弘前学院聖愛高等学校 3 $\left\{ \begin{array}{l} 25 - 11 \\ 25 - 13 \\ 25 - 10 \end{array} \right\}$ 0 三沢高等学校

ファーストレフリー 新岡 勇士

セカンドレフリー 岡村 尚文

9年連続11回目の選手権大会出場を目指す弘前学院聖愛高等学校（以下聖愛）と初出場を目指す三沢高等学校（以下三沢）の対戦。第1セット序盤、聖愛1番今井のクイックとサーブで13-1と抜け出す、三沢も1番山本、4番成田のスパイクで反撃するも聖愛が持ち前の高さコンビバレーで圧倒し、第1セットを奪う。第2セットも序盤は聖愛が第1セットの勢いで12-4とリードを奪う。しかし三沢もサーブで相手を崩し、フェイント攻撃で加点し、12-9まで差を詰めるも聖愛は1番今井の一人時間差、3番猪股のライト攻撃で再びリードを広げ、最後は5番熊野が決めて2セット目も聖愛が奪う。第3セットも序盤から聖愛6番三上のレフト攻撃、5番熊野の時間差攻撃で13-3とリードを奪う。後がない三沢も3番下田中、4番成田のスパイクで反撃し、レシーブでも粘りを見せるが、終始セッター境を中心としたコンビバレーを展開した聖愛が9年連続11回目の出場を決めた。

戦評者 白取 和也